

京都府公立高等学校の進路希望状況が発表されました。

「京都府公立高等学校の進路希望状況」について、11月29日(土)に新聞発表がありました。本校では10月に実施した「進路希望調査」のデータを元に作成されたものです。今回の進路通信とともに皆さんに配布しますが、この資料を見て、一喜一憂したり、第1志望にしている学校の状況を見て「進路希望を変えようかな」と思う人もいるかもしれません。この資料を見るにあたっての留意点を以下に書きます。

(1) このデータは11/10時点のものであること。

先にも触れましたが、この資料は11/10時点の集計であり、本校では第3回の進路希望調査のデータが含まれています。現在、「最終進路希望調査」を実施していますが、皆さんの中にも、第3回の希望調査以降に変更した人もいるのでは、と思います。その中には公立高校から私立高校への進路変更をした人もいると思いますし、私立高校から公立高校への進路変更をした人もいると思います(希望者数はそれに伴い増減があります)。

(2) このデータを見て進路変更する人がどれだけいるか。

この倍率を見て進路変更を考えることがあるかもしれません。しかし大切なのは、「進路希望について」です。第1志望校は、当然ながら君たちにとって「希望する学校」のはずです。このデータを見たことで、大幅に第1志望校などの状況が変わると考えにくいです。

(3) 倍率=難易度 ではない。

各公立高校の過去の選抜結果をもとに、各校の「難易度」を意識すると思います。その上で「希望する学校」を決めている生徒もいると思います。なので「希望者が多い=合格しにくい」とは必ずしも言えないと思います。まず何より「自分の学力を高める」ことが重要だと思います。

(4) どの学校にも必ず合格者は存在する。

たとえ倍率が5倍でも、希望者の中の5分の1は合格します。その中に入るよう、自分の学力を高めることが重要です。併願校として私立高校を受験し、そこで合格しておけば、公立高校受検の際に、「進路先は確保できている」という自信をもって臨むことができると思います。

いずれにしても大切なのは、**自分の学力を高めることに全力を注ぐことです**。いよいよ私立高校の受験まであと2か月となっていました。日にちは皆さんに平等に、着実に過ぎていきます。「なぜこの高校を第1志望にしたのか」「高校に入ったら何をしたいのか」を考え、日々の努力を重ねていってほしいと思います。

最終進路希望調査は12/3締め切りです。

保護者の皆様には11月の進路説明会でも説明しましたが、最終の進路希望調査が12月3日に締め切りとなります。今まで3回、進路希望調査を実施してきましたが、いよいよ最終の調査となります。

今後の準備もありますので、12月3日の締め切りを必ず守ってください。期限を守って提出することが、これから本当に重要になります(私立高校の願書提出などで、学校としても可能な限り日程に余裕をもって準備していきます。不備などがあった場合に対応できるということと、提出期限に例外がないからです)。また、学校によってはこの調査結果をもとに、最終決定を待たず準備を始めなければならないものもあります。(前期選抜における自己PRシートなど)。12月15日より三者懇談会を行います。準備もありますので、期限を守って提出してください。

京都府高校生等修学支援事業について

(以前お伝えした情報ですが、重要なものなので再度掲載します。)

京都府では、勉学意欲がありながら経済的理由により修学が困難な高校生等に対し、修学資金の貸与(貸付)等を行う事業があります。お子様を通じて、

「京都府高校生等修学支援事業 令和8年度貸与(貸付)予約申請案内」という資料をお配りしました。この資料には、令和8年4月に進学を希望する生徒について、要件を満たせば、進学後に貸与が受けられる予約申請についてまとめられています。

この事業の初回の振り込みは、進学先への入学を確認してからの貸与決定後(令和8年4月末~)となり、令和7年度中は振り込まれません。また、貸与(貸付)を受けた修学資金は、貸付終了後、生徒本人が返還しなければなりません(特別融資制度については、保護者が借入し返済します)。

貸与を希望される場合は、中学校より「令和8年度京都府高等学校等修学資金貸与予約申請のための手引き」「令和8年度京都府修学支援特別融資 利子補給制度申請の手引き」をお渡しします。案内をよくお読みいただいた上で、「手引き」を希望される場合は中学校までご連絡ください。また、この予約申請はいずれも12/22(金)が提出期限となります。手続きされる場合は期限にもご留意願います。